

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期元気であんきな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県飛騨市

3 地域再生計画の区域

岐阜県飛騨市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、国勢調査によると1955年の50,483人をピークに減少しており、2020年には22,538人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が11,268人となる見込みである。

あわせて、年齢3区分別でみると、生産年齢人口（15～64歳）は2020年の11,032人から、2050年には4,429人と減少する見込みである。老年人口（65歳以上）は、2020年の9,102人から2050年には5,996人に減少し、年少人口（0～14歳）は2020年の2,393人から2050年には843人に減少することから、全年齢帯での人口減少が見込まれる。

自然動態は、本市住民基本台帳によると、出生数が2000年の255人から2022年の105人に減少している一方、死亡数が2022年では過去最高の422人とここ10年間は高止まりで推移していることから、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲317人（自然減）となっている。

また、社会動態は、岐阜県人口動態統計調査によると、2023年で転出者が692人である一方、転入者が623人であり、転出者が転入者を上回り▲69人（社会減）となっている。社会動態も波はあるものの、若年層の転出を中心に長期的に社会減の傾向が続いている。

このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、若年層の転出（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、本市では、次々と未知の課題に直面する人口減少時代の中であって、課題を前向きに捉え、一つ一つ丁寧に向き合い、市民の声や困り感を肌で感じながら、様々な知恵と工夫によりその解決を図るとともに、それを暮らしやすさへと転換していくことで、市民の結束力やコミュニティの力を高めていく。

こうした取り組みを積み重ねていくことで、自分自身が住み慣れた環境の中で、誰もが心豊かに穏やかに過ごすことができるまちをつくる事が出来る。また、こうした取り組みの一つ一つを全国にしっかり発信し、「飛騨市」の認知度を高めることが、「飛騨市に住めば何か楽しいことが起きる」、「何か楽しいことができる」という“気”を市内全域に醸成することに繋がり、本市に住み、そして関わる全ての人々が、毎日の生活を楽しく暮らすことが出来るようになることを確信している。

このような考えから、本市が目指す5年後のまちの将来像を「いつまでもみんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」と掲げ、下記の基本目標を設定し、誰一人取り残されず、互いを家族のように支え合う、人口減少先進地としての全国モデルとなるまちづくりを推進することで、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 元気な飛騨市づくり ―しごとを守る―
- ・基本目標2 あんきな飛騨市づくり ―まちをつくる―
- ・基本目標3 誇りの持てる飛騨市づくり ―ひとを伸ばす―

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	仕事や生活の中でやりがいを感じている人の割合	42.30%	47.30%	基本目標1

	納税義務者一人当たり所得（市税）	2,861千円	3,000千円	
	観光入込客数	1,064,867人	1,200,000人	
	移住者数	566人	500人	
イ	今後も飛騨市に住み続けたいと思う人の割合	64.7%	70.0%	基本目標 2
	65歳以上の要介護認定者数に占める要介護 2 以上の方の割合	45.7%	47.9%	
	保育園待機児童数	0人	0人	
	消防団員数	778人	680人	
ウ	現在住んでいる地域に愛着がある人の割合	51.50%	56.50%	基本目標 3
	市民のまちづくり活動団体数	86団体	80団体	
	一人一日当たりの生活系ごみ排出量	684g	672g	

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期元気であんきな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり事業

ア 元気な飛騨市づくりーしごとを守る事業

イ あんきな飛騨市づくりーまちをつくる事業

ウ 誇りの持てる飛騨市づくりーひとを伸ばす事業

② 事業の内容

ア 元気な飛騨市づくりーしごとを守る事業

I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち

人口減少に起因する担い手不足の解消が最重要課題であることから、多様な人材が活躍する産業の支援や少人数でも持続可能な産業の支援を図る事業

【具体的な取組】

- ・全ての産業における人手不足対策の推進
- ・外国人材確保の推進
- ・誰もが働きやすい環境整備の推進
- ・事業者等の情報発信力強化の推進
- ・効率的で持続可能な事業経営の推進
- ・新技術の導入と市の業務の外部委託による省力化の推進 等

II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち

人口減少により地域内需要が減る中で、新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援や、自ら起業する人の支援と仕事づくり、広葉樹等の地域資源を活かした産業づくりにより、地域外需要の獲得を図るための事業

【具体的な取組】

- ・新たな販路開拓の推進
- ・DX や革新技术の活用による経営拡大の推進
- ・起業家の育成と受入環境整備の推進
- ・地域から仕事を供給する体制整備の推進
- ・広葉樹を活用した産業・まちづくりの更なる推進
- ・薬草を活用した産業・まちづくりの更なる推進
- ・地元食材を活用した産業・まちづくりの更なる推進 等

III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

飛騨市らしい観光地づくりと来訪者の関係人口化や、ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓、地域内外への訴求力が高い農

林畜産業づくり、農産物の高付加価値化と販路拡大、関係人口の深化、外部との連携強化、移住・定住の促進など、人や地域など飛騨市が持つ魅力を最大限発揮して、交流人口・関係人口等を拡大し、人と人、人と地域、人と企業が繋がることにより所得を生み出すための事業

【具体的な取組】

- ・観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進
- ・ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進
- ・農作物の高付加価値化による販路拡大の推進
- ・飛騨牛など畜産の生産体制強化と販路拡大の推進
- ・農林畜産業を支える基盤整備の推進
- ・関係人口等との関係深化によるまちづくりの更なる推進
- ・海外を含む他の自治体や大学、企業、団体などとの連携・提携等による交流の推進
- ・移住・定住の促進 等

イ あんきな飛騨市づくりーまちをつくる事業

I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち

「誰一人取り残さない」という SDGs のテーマを強く意識し、必要な医療・介護を受けられる持続可能な体制づくりや、最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり、弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり、安心して暮らせる公共サービスづくりなど、市民が誰一人取り残されないまちを目指すための事業

【具体的な取組】

- ・医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制の確保維持
- ・市外医療機関との連携の推進
- ・高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進
- ・終活支援体制強化による遺族等支援の推進
- ・障がいのある方の生活環境の充実と雇用拡大の推進
- ・弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大
- ・暮らしに必要な公共サービスの確保維持 等

II お互いを家族のように思い、支えあえるまち

持続可能な地域コミュニティづくり、地域防災力の強化、平和な日常を大切に思えるみんながやさしいまちづくり、子育て環境充実の推進など、全ての市民がお互い家族のように支え合い、助け合って暮らすための事業

【具体的な取組】

- ・持続可能なコミュニティ体制整備の推進
- ・地域防災力強化の推進
- ・子育て環境充実の推進
- ・産前産後の支援体制強化の推進
- ・子育て負担軽減の推進
- ・平和文化や共生を育む環境づくり
- ・犯罪や暴力、事故のないまちづくり
- ・危機的状況に備えた体制整備の推進 等

III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

人生 100 年時代から健康 100 年時代への転換を図り、全世代の健康づくり・体力づくりの支援や、誰もが互いに認め合い自分らしく活躍できる環境づくりなど、生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまちを目指す事業

【具体的な取組】

- ・生活習慣改善の推進
- ・高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいづくりの推進
- ・スポーツを通した健康増進の推進
- ・多様性を尊重し誰もが活躍できる仕組みづくりの推進
- ・誰もが無理なく楽しめる場づくりの推進 等

ウ 誇りの持てる飛騨市づくりーひとを伸ばす事業

I 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち

これから先の予測不可能な未知の課題が次々と出てくる人口減少時代の中で、課題解決型人材の育成を推進や、飛騨市ならではの教育の実践と環境づくり、地域クラブ活動や校外活動の支援など、次代を逞しく生き抜く子どもたちの力を育むための事業

【具体的な取組】

- ・飛騨市学園構想の推進
- ・飛騨市ならではの教育と環境整備の推進
- ・地域クラブ活動や学校外での活動支援の推進 等

Ⅱ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち

生涯学び自分を磨くことができる環境づくり、個性あるまちづくり活動の促進など、新たなまちづくりが生まれるきっかけを作り、“人”を誇れるまちを目指す事業

【具体的な取組】

- ・生涯にわたって学べる環境整備の推進
- ・趣味を楽しみ文化芸術に触れる環境整備の推進
- ・まちづくりを担う人材の発掘・育成の推進
- ・地域のまちづくり活動の連携と創出促進 等

Ⅲ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にす誇り高いまち

地域・文化資源を大切にす仕組みづくりや、豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくりなど、地域資源を大切にす、誇りと愛着を持って全国・世界に自慢するための事業

【具体的な取組】

- ・新たな地域資源・歴史資源の掘り起こしと磨き上げの推進
- ・文化資源継承の推進
- ・ごみの減量化の推進
- ・脱炭素化と自然・水資源を保全する取り組みの推進 等

※なお、詳細は第Ⅱ期飛騨市総合政策指針のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 7 月に、産官学金労言の 15 分野の代表を含む外部組織（飛騨市総合政策審議会）において毎年度の事業内容を評価・検証したうえで、P D

CAサイクルを回し次年度の事業内容に反映する。評価・検証結果は飛騨市ホームページにおいて公開する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで